

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 0170503924 | | |
| 法人名 | 有限会社 アイ | | |
| 事業所名 | グループホーム 澄川の丘 ほたる | | |
| 所在地 | 札幌市南区澄川6条7丁目1-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成25年1月31日 | 評価結果市町村受理日 | 平成25年3月5日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

デイサービスと併設しており、その機能を活用しながら交流を深めています。私たち職員は、入居者様と共に過ごす住まいとして支え合い生活をしております。ホームの前には栗林が広がっており、春には新緑で目と心で春を実感し、夏には木漏れ日で優雅な時間を過ごして頂き、秋には、栗の実を拾い栗ご飯や、茶碗蒸しと収穫を楽しみ、冬には雪景色を楽しみ、春を心待ちにするそんな、四季を感じ過ごしております。近隣には、中学校や、高校があり朝夕学生たちの賑やかな声が、登下校の様子を、ラウンジより眺めることが出来ます。放課後、耳を澄ますと、吹奏楽の演奏が聞こえてきたり、部活動の元気な声も届きます。また、体験実習(小学校2校・中学校2校)やボランティア活動の受け入れ、合唱コンクールや夏祭りの行事の参加など地域との繋がりを大切にしております。外出も、皆さんで空港など行きますが、個人での外出も出来る限り行っております、昔生活していた町へ行ったり、お墓参りへ行ったりと、その方お一人お一人の希望にあわせた外出をしております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2011_022_kani=tr ue&JigvosyoCd=0170503924-00&PrefCd=01&VersionCd=022 |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット |
| 所在地 | 札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室 |
| 訪問調査日 | 平成25年2月22日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 当ホームの原点「一人一人が主役となる出会い、ふれあい、支え合いの場を提供し、その人らしく、楽しく一日を過ごして頂けるようサポートする」でもあることから、日々のサービス、ケアプランへの活用など具体的につなげ実践している。また職員のプロフィールとともに季節の移りに応じた装飾を掲示して利用者を楽しんでもらっている。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | ホーム主催の行事には周辺住民の方や家族にも参加を願ったり、夏祭りやクリスマス行事等、四季折々日常生活に心地よいリズムを作るよう努力している。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 「澄川の丘の理念」をリーフレットとして作成し一日の生活の流れや催しを楽しんでもらう具体的な内容を生活環境の写真等を整え地域に開かれた環境に日々努めている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ホームとして運営推進会議の中で改善項目が出た場合は、ホームの会議の中で取り上げ職員と運営者が話し合いを持っている。行政関係者、町内会、家族等の参加を頂きながら報告事項以外に運営等の問題、課題について意見交換を行い運営に反省されるよう努めている。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 夜間等、入居者の緊急時には常時、管理者、看護師、関係機関等との連携で迅速な対応が出来るようにしている。 | | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束の無いケアの必要性について関連資料を整備し、職員は内部研修や日常業務を通して理解と実践に努め外部研修へも交代で参加している。また、玄関の施錠は夜間のみとしている。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 身体拘束廃止委員会を設立し、虐待については全職員十分に理解し業務にあたっているが今後も職員間で介護の仕方について考える機会を随時、設けてゆきたい | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 例年と変わらず、一部職員は理解できているが、他は理解できていないのが現状である。学ぶ機会を増やし、全員が理解出来る様取り組む必要がある。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | ご本人様、ご家族様にお会いし、十分な説明をし理解を頂いている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 入居者様には普段の生活の中で不満や要望は無いか、お話し会議にて解決をする。ご家族様にも面会の際などで伺っている。他、ホームの玄関に意見箱、苦情ボックスを設置している。 | | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎朝のミーティング、毎月のカンファレンス、管理職会議等行い、意見、提案等、聞く機会を設け、普段より意見交換を行っている。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員のストレス、体調には常に気を配っている。有給休暇、出産休暇、育児休暇と長期休暇が活用でき働きやすく、女性でも安心できる環境にある。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 施設内研修の実施、勉強会や職員のレベルスキルに合わせた外部研修を多く取り入れ積極的に取り組んでいる。また、年に一度、ノルウェー、スウェーデン等海外研修にも参加している。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域の連絡会議や南区の一部地域で2カ月に1度計画作成者の勉強会を行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 御本人様とお会いし、認知症状や生活状況、全身状態を確認し、御家族様等にて、情報を聞きアセスメントする。そのアセスメントをもとに、職員間でも情報共有し、利用者様の尊厳を大切に、より良い信頼関係が築ける様、検討している。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 事前に面談を行い、ホーム内見学、ここでの生活を説明し安心して、利用して頂ける様、不安や要望をお聞きしている。利用者様にとって、住みやすく、落ち着ける場を提供できるよう努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | あらかじめ面談時などにその方に合った支援が行えるように、ここでの生活の不安や要望を聞き、それに応える様に、検討、考慮し対応している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | その方の思いを尊重、大切に、いつまでも目上の方に対する敬う気持ちを忘れずに、寄りそい、心のケアを心掛けている。お手伝い等をする事により、ここでの存在意義をはかれる様支援を行っている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会時に近況、普段の状況をお伝えし、把握して頂いている。ホームでの行事(夏祭り、クリスマス会)、イベントに参加して頂き、一緒に楽しませている。またそれらの様子を新聞発行し、御家族様にお渡ししている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族様と同様に、大切にしてきた古くからの友人等が、面会に来られた際はプライバシーに配慮しつつ、ラウンジや自室で、楽しく安らいだ時間を過ごして頂ける様努めている。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 常に職員が利用者様同士の関係を把握し、必要、状況に応じて、介入し、良好、円滑な関係を築ける様、心掛け努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 契約が終了していても年賀状をやりとりしたり、行事(夏祭り)の参加のお手紙を差し上げたり、入院先にお見舞いに行ったりと関係は継続している。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者様の行動や言葉、症状など職員間で共有するため、送り、カンファレンスで意見交換、報告に努め利用者様にとって居心地良い環境づくりに努めている。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人やご家族から生活歴やライフスタイル、好み等をお聞きし、その人らしい生活が出来る様努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の生活状況等生活記録に残し、利用者様の希望に沿ったケアに努めている。また変化があった時は職員全員で情報共有し対応している。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | カンファレンスで状態の把握やケアの検討を行い、担当職員がモニタリングを行っている。それに基づいて計画作成者がアセスメント、評価プランを見直しで作成している。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | バイタル表、生活記録、受診報告書等に記録し、ご家族様にもいつでも閲覧して頂いている。職員間では、連絡ノート、送りを利用して情報を共有している。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 併設のデイサービスへ行き、体操、歌の会、ゲーム大会などレクリエーション等に参加している。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 近くの高校生のボランティアを受け入れ、お掃除や利用者様とお話、かるたなど一緒に時間を過ごしていただき支援を頂いている。消防の方には避難訓練の時に協力いただいている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 二週に一度往診を行っており、体調不良時には看護師と相談し、家族に連絡し、かかりつけ医に電話、または受診し対応している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師が朝の申し送り、往診の立会い受診時の同行も行い日頃から利用者の健康状態を把握し相談にも対応している。又、夕方巡回に来てくれる他夜間においても異常時はかけつけてくれる。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 出来るだけお見舞いに向い入院中の状態を把握し医療機関との情報交換、相談などが可能となる様努めている。担当医とご家族との考え方の方向性など検討している。利用者様の状態によりできるだけ環境の変化が無い様通院でフォローするように対応している。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居の際に重度化の指針は説明している。常時、医療が必要となった時はホームでの対応に限界があることと説明している。その上で重度化した場合はご家族と話し合いをし、その方にとってより良い環境でターミナルを迎えられるようにしている。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 消防署で行われている救命救急の講習を受けたり、マニュアルの作成を行い、常に目のつくところに掲示している。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年二回防災避難訓練を実践するとともに消防への自動通報システム、スプリンクラー、セコムへの自動通報システムも設置している。又連網もあり協力体制は整っている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 利用者の声かけには注意し「なれあい」にはなりすぎないようにし人格、個性を尊重してよりそのような声かけを心掛けている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者の思いや希望を把握するように日頃から会話、表情、行動等をよく観察するように努めている。その上で思いや希望に沿った暮らしが出来るよう心掛けている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者一人一人のペースや希望に沿った生活が過ごせるように努めている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 月に一度美容師の方に来て頂いたり希望時には外の美容室へお連れしている。メイクボランティアが来られるときもある。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 普段から一緒に食事をし、食事の片付けや食器洗い、拭いていただいたりと協力してくださっている。 | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量を把握し、嚥下状態により、刻み食にしたりと対応してる。水分量は一日を通じて確保出来るようこまめに出したりして対応している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後義歯洗浄など口腔ケアを行い本人の力に応じて実施している。義歯は一週間に一度洗浄液につけて清潔を保持している。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 一人一人の排泄パターンを把握し、声かけなどをしてトイレへ誘導させていただいている。オムツをしてもなるべくトイレで排泄していただくように介助している。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | フルーツを摂取したり、体操をして体を動かすように取り組んでいる。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 一人一人のご希望をお聞きしながら体調やご都合などを確認し入浴をしている。リフト浴や入浴剤を利用し安心して楽しく入浴できるよう心掛けている。 | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人一人に合った生活サイクルを大切にし休息などされている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬は職員が管理しており、名前、日付、朝食後など袋に記載し、服薬時に確認し飲み込むまで見守りを行っている。薬変更の際は説明書に目を通し、目的や副作用、用法や用量について理解している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人一人の出来ることや雰囲気状況等を把握し、日々の生活の中で発揮できるように努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 時にはご家族の協力を得て外出している。又、なにげない会話の中からやりたいこと、行きたい場所を聞きできるだけ外に出る時間をつくるよう努力している。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 自分でお金を保持したいという希望の強い方にはお金を持ってもらっている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 希望があった際には、すぐに電話が出来るよう支援している。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用の空間には生活感、季節感のある装飾をしている。その装飾が利用者さん同士の会話の中によく入っていて居心地の良い時間を過ごして頂けている。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | フロアにラウンジがあったり、誰が使用しても良い場所がある。利用者さん同士で好きなときに使われている。ところどころにソファもあり気軽に団欒されている。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 出来るだけ今まで使用していたなじみのものを持ってきて頂いている。居心地の良い空間作りをご家族、職員の話し合いのもと行っている。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 洗面所は車椅子タイプと普通のタイプのがあり、洗面動作など出来ることはご自分でしてもらっている。 | | |